

# TAMURA CORPORATION REPORT 2015

CORPORATE PROFILE / CSR REPORT DIGEST

Biltrite Tamura

2013-2015 & 2018



# TOP MESSAGE



「お客様に世界の一流品を提供する」  
創業の精神で、100年企業に向けて  
社業に一層邁進いたします。  
～創業90周年の節目の年、過去最高益を実現～

株式会社タムラ製作所  
代表取締役社長

田村 直樹



国連グローバル・コンパクト支持表明メッセージ  
タムラグループは、国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境  
および腐敗防止の4分野に関する10原則を引き続き支持し、推進  
してまいりますことを、ステークホルダー（利害関係者）の皆様方に  
宣言いたします。

## 3事業セグメント全てで 売上拡大と収益性向上を果たす

米国経済が好調に推移、中国や新興国も引き続き成長を続け、日本経済も、緩やかな回復が進む状況下の2014年度、当社グループでは、収益性の拡大を最大の目標に掲げる中期経営計画「Biltrite Tamura」に従い、高付加価値製品の創出と、ターゲット市場への拡販を進めるとともに、昨今の為替の円安傾向が減益要因となる海外生産比率の高い事業においても、きめ細かな個別顧客対応および原価改善・管理の徹底などにより収益の確保に努めました。

その結果、3事業セグメント全てが売上拡大と収益性の向上を果たし、連結業績は増収・大幅増益を実現。当社グループの連結年度の状況といたしまして、売上高は862億4千8百万円、営業利益は40億2千9百万円、経常利益は40億9千8百万円、当期純利益は1985年3月期の過去最高益を更新し31億6百万円となりました。

地域別に見ると、日本国内は円安による原価高の影響を受けながらも黒字を確保し、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカのいずれも利益を伸ばしました。

事業別では、電子部品関連事業は、エアコンなどの家電・住宅分野、ロボットなどの産業用機械の伸びを受け、リアクタ、トランスを中心に売上が増加するとともに、生産効率の改善や高付加価値製品の売上拡大により、大幅な増益となりました。電子化学実装関連事業は、戦略製品であるスマートフォン向けのソルダレジストが堅調に推移し、実装装置も売上、利益を伸ばしました。情報機器関連事業は、放送機器市場の需要回復を受けて前期までの低迷を脱し、音声調整卓「NTシリーズ」をキー局・地方局に多数納入でき、増収・黒字回復を果たしました。

## 中期経営計画「Biltrite Tamura」 2年間の成果と今後の課題

2014年度の増収・増益の実現は、中期経営計画「Biltrite Tamura」で掲げた、「健全な経営体質を作る」「最適なグローバル体制を作る」「立派な製品を作る」の3つの取り組みを通じた経営体質改善の表れであると言えます。

「健全な経営体質」につきましては、数字が示す通り、この2年間で収益改善は着実に進んでおります。しかしながら、重点とする営業利益率の向上に関しては、円安の影響などを受けて当初目標に若干届いておらず、今後一層の取り組み強化を図ってまいります。

「最適なグローバル体制づくり」につきましては、目安とする固定費の海外比率50%について、達成の可能性が高まっております。今後は、非日系顧客からの受注拡大に向け、欧米市場での営業強化を、また、中国からミャンマーやバングラデシュへの生産移管を進め、アジア圏全体の体制見直しを図ってまいります。

また「立派な製品を作る」に関しまして、高輝度ハイパワー白色光源に適したYAG単結晶蛍光体の開発、コア材を自社開発した車載リアクタの量産、ウェアラブル製品向けの微細部品の接合に最適な接合材料や、基板表面をデザインに反映させるソルダレジストのカラーバリエーションの拡大など、ユニークな製品づくりを進めております。今後も、タムラならではの製品による社会への貢献を着々と実現させてまいります。

## 「最適なグローバル体制づくり」へ、 国内外での人材育成に注力

タムラグループにとって海外を含めたサプライチェーンマネジメントの重要性が一層増しています。その鍵を握るのは

言うまでもなく人材であり、2014年度はそのための施策を国内外で展開いたしました。国内では、新入社員対象の海外研修や基幹従業員対象のグローバル幹部候補早期育成研修、管理職向け次世代グローバル経営層育成研修を実施。海外では、中国、香港、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、バングラデシュにおいて経営理念教育を、中国、マレーシアにおいてマネジメント研修を実施。タムラグループ共通の階層別研修をグローバルに展開し、現地従業員の育成を図るとともに、タムラグループとしての一体感を醸成しました。

2014年12月に発生した「マレーシア東海岸の洪水災害」においては、現地法人が独自に支援物資の提供、およびボランティア活動を実施。海外に在る企業として、グローバル化・現地化を、社会貢献の面からも推進しています。

## 「お客様に世界の一流品を提供する」創業の精神で、 100年企業に向けて社業に一層邁進いたします

2014年度は創業90周年の節目の年でもありました。90年の歴史を記念するとともに、これまでご支援賜ったお客様への感謝の気持ちを込めまして、2015年2月5日、6日の二日間、東京国際フォーラムに於いて「Tamura Fair ～90年の感謝、そしてその先へ～」と題したプライベートショーを開催し、これまでの歴史とこれからの時代に向けた製品・技術の展示を行いました。このフェアには、国内外より約1,400名のお客様にご来場いただき、「お客様に世界の一流品を提供する」という創業の精神を今一度胸に刻み、100年企業に向け、社業に一層邁進する決意を新たにいたしました。

タムラ製作所は、これからもみなさまに信頼される企業として、発展を続けてまいります。

2015年7月

## MISSION STATEMENT

### MISSION

私たちは タムラグループの成長を支える  
全ての人々の幸せを育むため、  
世界のエレクトロニクス市場に高く評価される  
独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます。

### VISION

1. タムラグループは、世界的視野にたち、エレクトロニクス産業が求める事業を経営基盤とします。
2. タムラグループは、市場本位をつらぬき、世界のお客様が求める技術を事業基盤とします。
3. タムラグループは、公正な視点で社員を評価し、努力によって成果をもたらす人を最も賞賛します。
4. タムラグループは、国際社会の一員として行動し、各国の法規制を順守し文化・慣習を尊重します。
5. タムラグループは、地球環境の保全に努め、資源の有効化と再資源化を推進します。

### GUIDELINE

1. 私たちは、パートナーシップを大切にします。
2. 私たちは、革新する勇気を大切にする。
3. 私たちは、多彩な個性を大切にする。
4. 私たちは、社会的な責任を大切にする。

# TAMURA CORPORATION REPORT 2015

CORPORATE PROFILE / CSR REPORT DIGEST

## CONTENTS

トップメッセージ	01
MISSION STATEMENT	02
目次/編集方針	02
[CORPORATE PROFILE]	03
タムラグループビジョン	03
事業の系譜とコア技術	05
製品一覧	07
暮らしと環境を支える	09
社会と産業を支える	11
グループネットワーク	13
[CSR REPORT DIGEST]	14
CSR活動実績	
2014年度の主な取り組み結果と2015年度の計画	15
社会性報告	
2014年度CSR活動トピックス	17
環境報告	
2014年度環境活動トピックス	19
CORPORATE DATA	21

編集方針 本冊子は、グループ概要や事業を紹介した[CORPORATE PROFILE]と、CSR活動をダイジェストで紹介し



た[CSR REPORT DIGEST]を1冊にまとめて、タムラグループをご紹介します『TAMURA CORPORATION REPORT 2015』として発行するものです。

なお、CSR活動の詳細な報告は、タムラ製作所ホームページ「CSR活動」のページに掲載しております。「CSR活動」の編集にあたっては、GRI『サステナビリティ・レポート・ガイドライン3.1』、環境省『環境報告ガイドライン(2012年版)』、ISOガイダンス規格『ISO26000』を参照しました。

報告対象期間 2014年4月1日～2015年3月31日  
(一部、2015年4月以降の活動も含みます)

発行 2015年7月

(前回:2014年7月 次回:2016年7月)

お問い合わせ先 CSR推進本部

TEL:03-3978-5293 FAX:03-3978-2760

E-mail:csr@tamura-ss.co.jp

ホームページ <http://www.tamura-ss.co.jp/>



# TAMURA GROUP VISION

## タムラグループビジョン

### 第10次中期経営計画

## Bilrite Tamura

株式会社タムラ製作所は、2014年、前身である「田村ラヂオ商会」の創業から90年目の節目を迎えると共に、その先に向けて新たな一歩を踏み出しました。

Bilriteとはタムラ創業期の製品である電気蓄音機・アンプに使用され、特に高級品、高品位品に付けられた由緒ある商標です。現存するカタログとして最も古い昭和12年発行のカタログ第3号の冒頭に、次のようなコメントが記されています。

「当製作所の製品にはBilriteの商標を付けてあります。是は製品に対して絶対的に責任を持つ意味であります。御買求めに際し、Bilriteの商標は品質に対する一種の保険証書として御承知置き下さい。」

創業75周年社史『21世紀へのみちしるべ』より

【当時のロゴマーク】

*Bilrite*

私たちは、創業の原点に立ち返り、2015年度を最終年度とする第10次中期経営計画“Bilrite Tamura”を推進中です。

### 立派な製品を作る

- ☐ ナンバーワン商品・オンリーワン商品の強化
- ☐ 新規・戦略事業の投資回収

### 健全な経営体質を作る

- ☐ 売上重視から利益重視への意識改革
- ☐ 適正な「つなぎ利益」の確保

### 最適なグローバル体制を作る

- ☐ グローバル労務費・経費の最適配分
- ☐ ナショナルスタッフの活躍推進





# GENEALOGY OF PRODUCT DEVELOPMENT

事業の系譜とコア技術 ～歴史で培われた技術力が今も光る～

## HISTORY

1924～  
ラジオ、蓄音機の  
製作・販売



1930～  
トランスの自作化  
ビルトライト



各種  
トランス



日本でラジオ放送が始まる1年前の1924(大正13)年、当社の前身となる「田村ラヂオ商会」が創業しました。ラジオ修理からオリジナルのラジオ作りを行う中で、「良い音」への追求から、その鍵となるトランスの製作を手掛けるようになり、「トランスのタムラ」としての礎を築きました。

その後、トランスを軸とした各種電子部品、良いトランスを作る良い接合材料への追求からフラックスやはんだ材料、はんだを接合するためのはんだ付装置、さらには放送用・通信用トランスの実績から放送用音声機器・通信機器にとその業容を広げてまいりました。

現在では、電子部品、電子化学実装、情報機器の3つの事業分野で、環境やエネルギーなど新たな市場のニーズに応える製品の開発、供給に努めています。

## PRODUCTS

### 電子部品

各種トランス・インダクタ・リアクタ  
チョークコイル  
電流センサ

ACアダプタ・バッテリーチャージャ  
電源モジュール  
産業機器用電源装置

圧電セラミックス製品

温度ヒューズ、抵抗器

LED関連製品、自動販売機関連製品

### 電子化学実装

ソルダーペースト・ポストフラックス  
導電性接合材

ソルダーレジスト  
(リジット基板用・フレキシブル基板用)  
OSP(プリフラックス)  
白色反射材、黒色吸収材、透明絶縁材

リフローはんだ付装置  
ウェーブはんだ付装置  
スプレーフラックス他周辺機器

### 情報機器

放送用音声調整卓  
放送用音声編集機器他

ワイヤレスインターカム  
ワイヤレスマイクロホン

通信ネットワーク機器  
セキュリティ関連機器  
各種OEM製品

## CORE TECHNOLOGY

### パワーソリューション

- ダストコア素材開発と量産化技術
- 温度保護素子開発と量産化技術
- 電磁界、熱、構造の各解析(シミュレーション)技術
- 高効率低ノイズ電源技術
- 大電流トランス巻線技術
- 環境対応技術
- 高信頼規格(JAXA・MIL規格等)適応技術

### 圧電セラミックス

- 材料開発・プロセス技術
- 素子設計技術・解析技術
- 圧電素子の制御技術

### LED・半導体デバイス

- LEDパッケージング技術
- 防水技術
- 熱設計・解析技術
- 光学設計・解析技術
- 高効率反射処理技術
- 単結晶基板育成技術
- 高品質エピ成膜技術
- 高効率・高出力LED製造
- 照明設計技術

### 電子実装プロセス/プリント配線板材料/半導体実装材料

- 材料と設備一体の製品開発とコラボレーション
- 樹脂設計・合成技術(感光性樹脂・熱硬化性樹脂・熱可塑性樹脂)
- 金属粉末作製技術
- はんだ接合技術
- 光硬化技術
- 熱硬化技術
- 環境対応技術(鉛フリー化対応、ハロゲンフリー化対応)
- リフロー加熱技術
- ソルダリング技術
- ウェーブはんだ付技術
- 熱制御技術
- (窒素)雰囲気制御技術

### 情報機器

- 音声処理技術
- デジタル信号処理技術
- 光変復調技術
- 音響技術
- 高周波技術
- 無線技術
- 高密度実装技術
- サラウンド音響技術

1956～  
カットコア/磁性材料



1970～  
チョークコイル



1956～  
電源機器



1973～  
温度ヒューズ



1994～  
圧電トランス



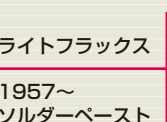
1987～  
自動販売機用連動ボタン



2008～  
LED



1956～  
ソルダーライトフラックス



1957～  
ソルダーペースト



1961～  
レジストインク



1968～  
自動はんだ付装置



1961～  
放送用音声調整卓



1962～  
ワイヤレスマイク



1976～  
伝送監視装置





# PRODUCT REVIEW

製品一覧 ～素材からシステムまでエレクトロニクス産業を支える～

## 電子部品

トランス・LED・圧電セラミックス・充電器など素材・部品・完成製品の開発・生産・販売を行い、一般家電から産業機器・医療機器、さらには宇宙機器まで幅広い市場に製品を供給しています。



各種トランス



電流センサ



ACアダプタ

LED電源



自動販売機関連製品



ボードライト910



LEDデバイス



LED照明



7セグ表示器



オーディオトランス



チョークコイル



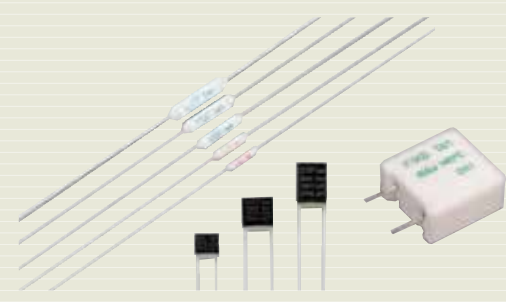
圧電トランス



リアクタ



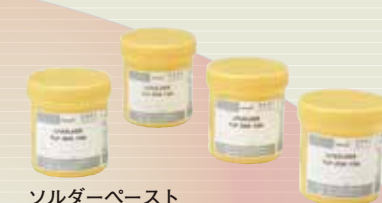
電源モジュール



温度ヒューズ/温度ヒューズ付き抵抗器

## 電子化学実装

プリント配線板の形成材料や部品のはんだ付材料、プリント配線板のはんだ付を行う装置の開発・生産・販売を行い、さまざまなエレクトロニクス産業の成長に貢献しています。



ソルダーペースト  
(一般用・車載用・半導体用)



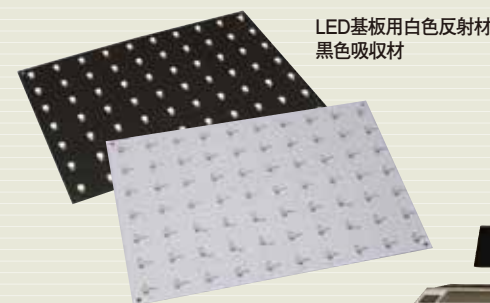
導電性接合材



フラックス



ソルダーレジスト  
(一般用・車載用)



LED基板用白色反射材/  
黒色吸収材



透明絶縁材



リフローはんだ付装置



フレキシブル基板用ソルダーレジスト



ポイントディップはんだ付装置

## 情報機器

放送用音声機器・無線連絡装置は、デジタル放送化に貢献しています。また、通信設備システムがユビキタス社会を支える一方で、鉄道向け駅用無線連絡装置・セキュリティ機器が安心・安全・快適な暮らしに貢献しています。



デジタルオーディオ  
ミキシングコンソール  
[NT880]



デジタルオーディオ  
ミキシングコンソール  
[NT660]



デジタルワイヤレスマイク



鉄道用ワイヤレスマイクロホンシステム



デジタルワイヤレスインターカムシステム



ネットワーク監視制御装置



## 暮らしと環境を支える

## 省エネ・創エネに貢献

未来を創るさまざまなフィールドでタムラのテクノロジーは活躍しています

■ 電子部品 ■ 電子化学実装 ■ 情報機器

温度ヒューズ付き抵抗器/  
メタルクラッド抵抗器

電気自動車を始めとする  
さまざまな環境貢献製品  
に採用。機器への突入電  
流などを防止してトラブル  
から製品を守っています。



## 車載用リアクタ

ハイブリッド車・電気自動車  
などの電圧を最適に制御す  
るための基幹部品。高信頼  
性・安全性でエコドライブ  
を支えます。



## コイル

自動車電装品のノイズ低減やエネルギー  
効率改善のための部  
品。自動車のエコ・安全・安心を支えています。



## ソルダーレジスト

プリント基板を酸化から  
守り、絶縁性を保つ大切  
な役割を果たしていま  
す。プリント基板の顔  
であることから、外観・中  
身(信頼性)ともこだわり  
ます。



## ソルダーペースト

はんだ合金を  
粉末化し、フ  
ラックスを混ぜ  
ることでクリー  
ム状にしたはんだ。幅広い金属組成ライン  
ナップから、お客様のニーズに応えます。



## 大型トランス・リアクタ

大規模な風力発電、  
太陽光発電設備など  
において、大型トランスは電圧変換、リアクタは電圧制御やノイズ除去のための基幹部品。省エネルギー、クリーンエネルギーに貢献します。



## 白色反射材

太陽光発電パネルの背  
面に塗布し、太陽光の反  
射率を高め、発電効率向  
上を助けます。反射シー  
トの代替として活用でき、歩留まりの向上に  
寄与します。



## 導電性接合材

金属的接合と樹脂の硬化  
による接合を同時に行う、  
新しい接合材料です。鉛  
フリー・VOCフリーで環境  
に配慮しています。また、低温接合によるCO<sub>2</sub>  
削減が期待できます。



## LED Lighting

## Automotive

Wind power  
generationSolar power  
generationSmart phone  
Tablet PC

## LED電源

施設照明、道路照明  
などの屋外LED照明  
用電源です。高効  
率、高力率設計であ  
り、多段階調光機能を内蔵していますので、業界  
トップレベルの省エネ照明を実現できます。

## 導電性接合材

金属的接合と樹脂の  
硬化による接合を同  
時に行う、新しい接合  
材料です。鉛フリー・  
VOCフリーで環境に  
配慮しています。また、低温接合によるCO<sub>2</sub>削  
減が期待できます。

## 透明絶縁材

スマートフォンやタブ  
レットPCなどに使われ  
ているタッチパネルの  
液晶画面向け透明絶縁  
材です。有機物にも無機  
物にも対応でき、印刷タイプやインクジェット  
タイプで、工程・コスト削減も期待できます。

## 黒色吸収材

プリント基板やフィル  
ムの表面に塗布して、  
LEDの発光を際立た  
せます。配線を覆い  
隠すなど、デザイン性  
の要求にも応えます。

## 電源モジュール

高効率DCコンバータの  
機能をパッケージ化し  
ました。お客様の製品に  
ぴったりの高性能電源  
(高効率・低待機・静音・  
小型)を、簡単に設計できます。

## リアクタ

パワーコンディショナ  
ーやエアコンディショナ  
ーなどにおける電圧制御  
やノイズ除去のための  
基幹部品。省エネ  
ルギー、クリーンエネルギーに貢献します。

## 電流センサ

自然エネルギーの有効利用  
には、機器の電流を高精度  
に監視する必要があります。  
充実したラインナップ(電流  
レンジ、精度レンジ)で、省エ  
ネ・創エネ・蓄エネに貢献します。

## 温度ヒューズ

さまざまな電化製  
品に組み込まれ、  
温度が所定以上に  
なったときに切れ、  
回路を完全に遮断し、機器の異常を防ぎます。

Air  
conditioner

## Power conditioner



# 社会と産業を支える

高信頼、高機能、高効率に貢献

見えないところでもしっかりとタムラのテクノロジーは私たちの暮らしを支えています

■ 電子部品 ■ 電子化学実装 ■ 情報機器

## 宇宙トランス・リアクタ

電力系トランス・リアクタでは国内唯一のJAXA(宇宙航空研究開発機構)規格認定を取得。人工衛星や打ち上げ用ロケットで活躍しています。

## ACアダプタ

光回線終端装置(ONU)に安定した電源を供給します。雷などの外来ノイズにも強く、インターネットや電話などの通信ライフラインを支えます。

## 圧電トランス

圧電セラミックスの共振現象を利用し、高電圧を効率よく作り出します。レーザープリンタの印刷用電圧に使われ、省エネルギーに貢献します。

## ソルダーレジスト

プリント基板を酸化から守り、絶縁性を保つ大切な役割を果たしています。プリント基板の顔であることから、外観・中身(信頼性)ともこだわります。

## ソルダーペースト

はんだ合金を粉末化し、フラックスを混ぜることでクリーム状にしたはんだ。幅広い金属組成ラインナップから、お客様のニーズに応えます。

## フラックス

タムラの材料開発の礎となったフラックス。はんだ付される金属面の酸化膜を化学的に除去し、はんだのぬれ性・広がり性を確保する材料です。

## はんだ付装置

プリント配線板の実装に欠かせないはんだ付装置。鉛フリーはんだ付装置のパイオニアとして、省エネ・環境配慮に寄与しています。

リフロー  
はんだ付装置

ウェーブはんだ付装置

Artificial satellite

Station

Office

ONU

Laser printer

Train

Mounting line

Industrial robot

## ワイヤレスマイクロホンシステム

JR・私鉄・地下鉄の駅構内における発着案内、緊急連絡、発車ベルなどの遠隔制御で列車運行の安全・安心および定時運行を支えています。

## サインボード

LEDを使ったドットマトリクスで文字を表示します。駅やバスで行き先を表示したり、さまざまな情報を伝えるツールとして活躍しています。

## 看板用LED照明

独自の光学設計によるレンズ効果で、より薄く、ムラのない発光面を実現。省スペース、省エネ、長寿命で美しい看板を作り、高いシェアを頂いています。

## 自動販売機用LED製品

シェア70%を誇る商品選択ボタンをはじめ、価格表示ユニット、金額表示器は、自動販売機の重要部品。LED照明は、蛍光灯の約1/8の消費電力で省エネに貢献しています。

## 鉄道用トランス

鉄道車両に搭載され電圧を変換する部品。厳しい環境下においても鉄道の高信頼性・安全性を支えます。

## トランス・リアクタ

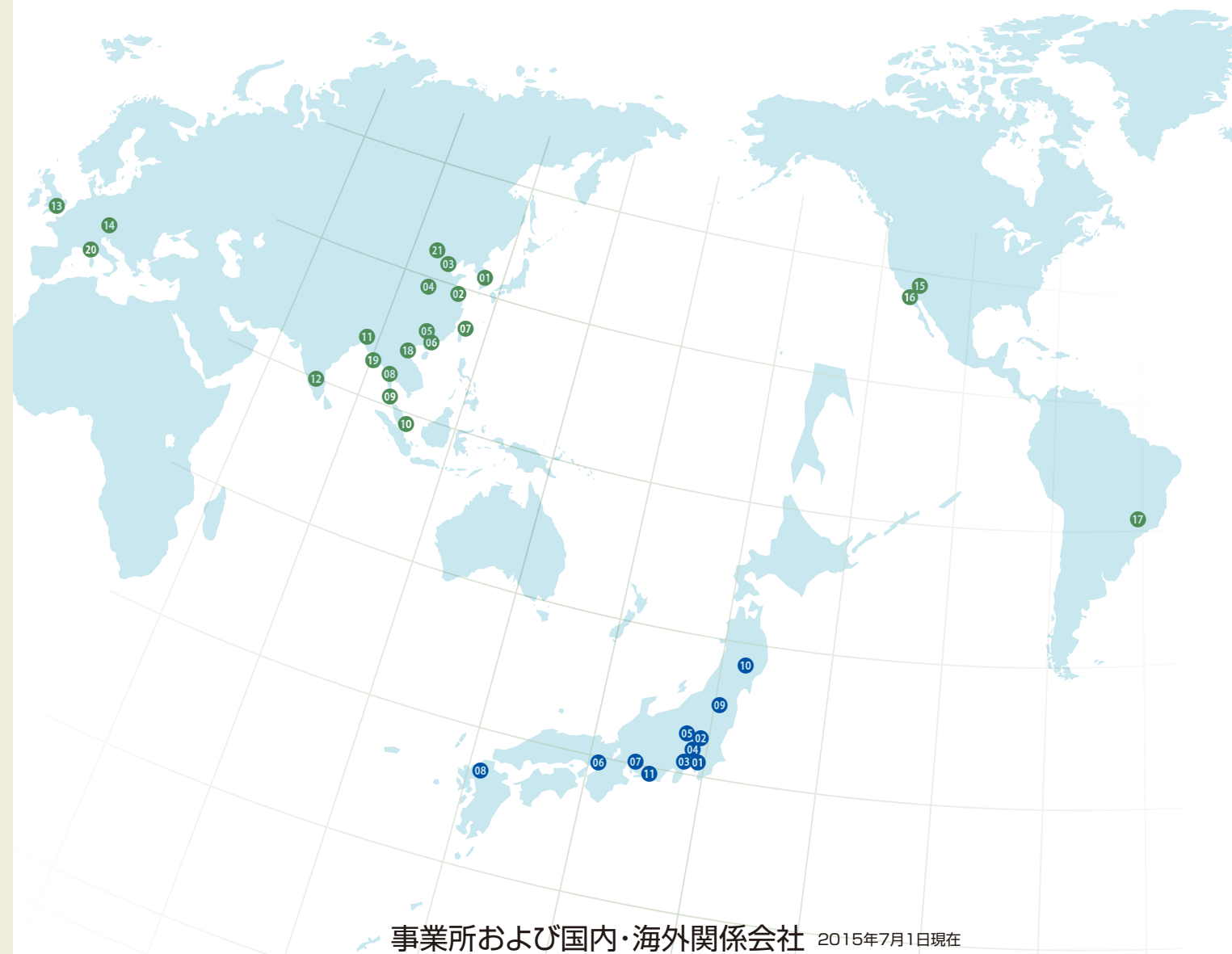
ロボットや工作機械などにおける、トランスは電圧変換、リアクタは電圧制御やノイズ除去のための基幹部品。機器の高性能化・高信頼性化に貢献します。

## 電流センサ

電気製品を動かす源は、電流と電圧です。特に電流の動きは、製品の安定動作に重要です。ロボットなどの産業機器に使われ、正確で安定した動作を支えます。



## GROUP NETWORK



事業所および国内・海外関係会社 2015年7月1日現在

#### 01 株式会社タムラ製作所 本社・東京事業所 電子部品関連事業

- 事業所
- 02 坂戸事業所
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 国内関係会社
- 01 株式会社光波
- 10 株式会社若柳タムラ製作所
- 11 株式会社光波 浜松工場

- 海外関係会社
- 02 田村精工電子(常熟)有限公司
- 04 合肥博微田村電気有限公司
- 05 田村電子(深圳)有限公司
- 05 田村電子(惠州)有限公司
- 05 安全電具(惠州)有限公司
- 07 田村科技股份有限公司
- 09 タムラ電子(マレーシア)株式会社
- 11 OP-SEED CO.,(BD)LTD.
- 12 タムラ エルコンポニクス テクノロジーズ
- 13 タムラ ヨーロッパリミテッド
- 14 タムラ ヨーロッパリミテッド チェコ支店
- 15 タムラ コーポレーション オブ アメリカ
- 16 タムラ電子(メキシコ)株式会社

- 17 テレパート・タムラ
- 17 インドサル エスシー
- 17 インドサル エムジー
- 19 アースタムラエレクトロニクス(ミャンマー)株式会社
- 20 タムラマグネティックエンジニアリング有限公司

#### 電子化学実装関連事業 〈電子化学事業関連〉

- 事業所
- 03 入間事業所
- 05 児玉工場
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 海外関係会社
- 01 タムラ化学韓国株式会社
- 02 上海祥栄田村電化工業有限公司
- 03 田村電子材料(天津)有限公司
- 05 田村化研(東莞)有限公司
- 07 田村化研科技股份有限公司
- 09 タムラ化研(マレーシア)株式会社
- 13 タムラ化研(英国)株式会社
- 15 タムラ化研(アメリカ)株式会社
- 〈FAシステム事業関連〉
- 事業所
- 04 狭山事業所

- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 08 福岡出張所
- 海外関係会社
- 02 田村自動化系統(蘇州)

#### 情報機器関連事業

- 事業所
- 01 東京事業所
- 06 西日本営業所
- 01 韓国連絡事務所
- 国内関係会社
- 09 株式会社会津タムラ製作所
- 海外関係会社
- 21 田村(中国)企業管理有限公司北京事務所
- 地域統括／販売・サービス／その他
- 国内関係会社
- 02 株式会社タムラ流通センター
- 海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ
- 02 田村(中国)企業管理有限公司
- 06 田村香港有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 18 タムラコーポレーションベトナム

## CSR REPORT DIGEST

私たちは、タムラグループの企業理念であるミッションステートメント(p.2)を事業活動の中で実現することが、タムラグループのCSR(企業の社会的責任)だと考えます。そのためには、私たち一人ひとりがCSRを理解し行動していくことが大切と考え、推進活動を積極的に行っております。

#### ■コーポレートスローガン

“YOUR ONE AND ONLY COMPANY”

オンリーワン・カンパニーの実現を目指します

#### ■タムラグループミッション

タムラグループの存立理由で  
最上位の概念

経営の基本方針、および  
社会に表明する到達目標

行動基準。役員および従業員が  
日々、どのように思考し、  
行動するか的心構え

MISSION  
ミッション

VISION  
ビジョン

GUIDELINE  
ガイドライン

#### タムラグループ行動規範【17項目】

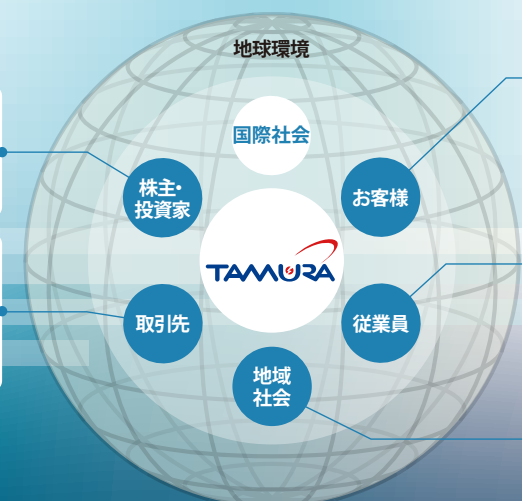
1. お客様の信頼と満足の獲得
2. 株主等経営を支援していただく皆様からの信頼の獲得
3. 基本的人権の尊重
4. 安全で健康的な職場環境
5. 自由な競争及び公正な取引
6. インサイダー取引の禁止
7. 不適切な接待及び贈答の禁止
8. 公的機関との不適切な取引及び不適切な政治献金の禁止
9. 安全保障輸出入管理関連法令の遵守
10. 知的財産権及びノウハウの創出、保護と活用
11. 反社会的行為への関与の禁止
12. 競争及び利益相反行為の禁止
13. 適切でタイムリーな情報開示
14. 情報(企業情報・個人情報等)の適切な保護及び管理
15. 会社資産の保護
16. 地球環境の尊重
17. 国際社会との協調及び地域との共生

創業の精神である「お客様に世界の一流品を提供する」意志・姿勢を「オンリーワン」と表現し、グループのスローガンとして掲げています。また2007年1月、ミッションステートメントのガイドラインを具体的な行動に落とし込んだ17項目の「タムラグループ行動規範」を制定しております。

#### ■タムラグループの 主要なステークホルダー

株主・投資家の皆様の利益・期待に応えられる事業経営に努めるとともに、タムラグループの企業活動を正しくご理解いただけるよう適時適切な情報開示に努めます。

事業活動がもたらす社会・環境影響を考えると、取引先の皆様との協力体制は、必要不可欠です。公正・公平な取引を行うとともに、CSR調達やグリーン調達を推進し、サプライチェーンマネジメントによる社会・環境影響への配慮に努めます。



お客様の要望を積極的に把握し、品質・安全性などにおいて、常にお客様の信頼、満足が得られる製品・サービスの提供に努めます。また福祉や環境保全など、社会に高く評価される製品・サービスを提供し、お客様の発展とともに、持続可能な社会の構築に貢献します。

従業員一人ひとりの成長がタムラグループの成長を支えています。従業員が、「パートナーシップ」「人間的な成長」「革新する勇氣」「多彩な個性」を大切にし、能力を最大限に発揮でき、自己実現を図れるような職場環境の整備に努めます。

地域の皆様から親しまれ、信頼されるよう、各国・各地域の歴史、文化や慣習を尊重した行動を取るとともに、地域社会に密着した社会貢献活動に努めます。また、コミュニケーションを大切にし、地域の発展に貢献します。





# 2014年度の主な取り組み結果と2015年度の計画

■自己評価



達成率100%以上



達成率80%以上100%未満



達成率80%未満

■報告ページ

冊子:「TAMUTA CORPORATION REPORT 2015」で報告している活動を示します。

WEBサイト:URL www.tamura-ss.co.jp/jp/csr/index.html

一部を除いて活動全般を報告しています。

※印の一部情報について、計画指標及び実績値を報告しています。

タムラグループでは、以下のようなCSR活動を推進しています。

取 り 組 み 分 野	取 り 組 み 目 標	2014年度の主な取り組み計画	2014年度の主な取り組み結果	自 己 評 価	報 告 ペ ー ジ	関 連 す る ス テ ー ク ホ ル ダ ー	2015年度の主な取り組み計画
( 全 般 )	●CSRリスクの排除 ●CSR教育の充実	●「CSR情報サイト-実践編」の作成完了	●「CSR情報サイト-実践編」作成完了		WEBサイト 冊子:p.18	従業員	●「CSR情報サイト」を活用した浸透教育
コンプライアンス・ 企 業 倫 理	●経営理念・「タムラグループ行動規範」 の浸透 ●法令、ルールの遵守の推進 ●コンプライアンス教育の充実	●経営理念・「タムラグループ行動規範」の浸透教育推進 ●コンプライアンス教育の推進	●経営層人材短期養成講座におけるCSR (コンプライアンス含む)教育実施  ●コンプライアンス映像教材による教育実施 ●中国、マレーシア、タイ、バングラデシュ現地法人 での経営理念教育実施		WEBサイト	従業員	●経営理念・「タムラグループ行動規範」の浸透教育推進 ●コンプライアンス教育の推進
危 機 管 理	●危機管理の強化	●BCP(事業継続計画)文書の定期・臨時の見直し ●各事業所備蓄品の計画的な整備 ●防災訓練の実施	●事業セグメントごとにグローバルでBCPを 展開 ●国内各事業所にて、避難訓練、安否確認 訓練を実施  ●国内各事業所における備蓄品整備 (災害備蓄セットの全従業員への配布、 一部事業所へのリアカーの配備等)		WEBサイト	従業員	●BCP文書の定期・臨時の見直し ●各事業所備蓄品の計画的な整備 ●防災訓練の実施
情 報 管 理	●情報保護の体制の強化 ●適時適切な企業情報開示の推進	●情報保護体制の強化 ●ホームページによる適時適切な企業情報開示	●ホームページによる適時適切な企業情報 開示		WEBサイト	株主・投資家様 従業員	●情報保護体制の強化 ●ホームページによる適時適切な企業情報開示
人 権 ・ 労 働	●従業員向け社内研修の充実 ●公正・公平な評価制度の確立 ●社内コミュニケーションの活性化	●海外研修の継続実施 ●ヘルスケアの充実 ●安全衛生社内巡視 ●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)対応	●中国及びマレーシア現地法人での管理者 研修 ●評価制度のグローバル展開 ●若手従業員の海外研修 ●労務管理に関する管理者研修及び eラーニング実施 ●ストレスカウンセリングの定期的実施  ●交通安全講習会の実施 ●安全衛生社内巡視の実施 (タムラ製作所各事業所他) ●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)使用状況の お取引先様への調査実施		WEBサイト※	従業員 国際社会	●海外研修の継続実施 ●ヘルスケアの充実 ●安全衛生社内巡視 ●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)対応
環 境 ・ 品 質	【品質】 ●顧客満足のさらなる向上 ●グリーン調達の推進	●品質月間における品質向上啓蒙活動 ●タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 ●製品含有化学物質管理の強化	●タムラフェアの開催 ●品質月間初日に品質担当執行役員から メッセージ伝達 ●第8回タムラグループ品質推進大会の開催		WEBサイト 冊子:p.17	お客様 取引先様 従業員	●品質月間における品質向上啓蒙活動 ●タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 ●製品含有化学物質管理の強化
	【環境】 ●ISO14001統合認証取得の推進 ●省エネルギー、省資源の推進 ●環境負荷物質の抑制、削減 ●環境貢献製品の提供	●環境貢献製品の売上比率プレミアム環境貢献製品:17% (一般環境貢献製品:62%) ●環境負荷物質削減:2005年度比原単位64%削減 ●電気使用量の削減:2005年度比5%削減 ●環境法規制順守	●環境貢献製品の売上比率 プレミアム環境貢献製品:17%【計画達成】 (一般環境貢献製品:60%【計画未達成】)  ●環境負荷物質削減:63%削減【計画未達成】 ●電気使用量の削減:4%削減【計画未達成】 ●環境法規制違反なし		WEBサイト※ 冊子:p.19-20	お客様 地域社会 国際社会 従業員	●環境貢献製品の売上比率プレミアム環境貢献製品:17% ●環境負荷物質削減:2005年度比原単位64%削減 ●電気使用量の削減:2005年度比7%削減 ●環境法規制順守
社 会 貢 献	●継続性のある社会貢献活動の実施 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●文化、芸術、スポーツ振興の実施	●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●スポーツ振興 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進 ●ユニセフ外国コイン募金の推進	●各種寄附活動 ●マレーシア東海岸洪水被害への現地法人 による支援活動 ●ものづくり教室開催 (若柳タムラ製作所でも初回実施) ●スポーツ活動支援 ・女子サッカーチーム(ASエルフェン埼玉)への 協賛 ・練馬こぶしハーフマラソン2015への協賛  ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●各事業所近隣・周辺環境美化活動の推進 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進 ●ユニセフ外国コイン募金の推進		WEBサイト※ 冊子:p.17-18 (左記結果の一部)	地域社会 従業員	●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●スポーツ振興 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進 ●ユニセフ外国コイン募金の推進
上 記 以 外	●国連グローバル・コンパクトの浸透	●「CSR情報サイト」を活用した浸透	●「CSR情報サイト-実践編」作成とその周知		WEBサイト	従業員 国際社会	●「CSR情報サイト」を活用した浸透教育
	●ISO26000対応	●「タムラグループ行動規範」の周知	●「CSR情報サイト-実践編」作成とその周知		WEBサイト	従業員 国際社会	●「CSR情報サイト」を活用した浸透教育
	●サプライチェーンにおけるCSR推進	●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)不使用の周知 ●CSR調達の推進 ●グリーン調達の推進	●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)使用状況 のお取引先様への調査実施 ●「調達ガイドライン」の改定周知と契約等 締結の推進 ・紛争鉱物不使用 ・反社会的勢力排除  ●CSR調達の推進 ●グリーン調達の推進		WEBサイト 冊子:p.17	取引先様 国際社会	●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)不使用の周知 ●CSR調達の推進 ●グリーン調達の推進





社 会 性  
報 告

# 2014年度CSR活動トピックス

## 創業90周年記念行事

### 「Tamura Fair ～90年の感謝、そしてその先へ～」開催

2015年2月5日・6日、東京国際フォーラムにて「Tamura Fair ～90年の感謝、そしてその先へ～」と題したプライベートショーを開催しました。当社が2014年5月11日に創業90周年の節目を迎えたことを記念しての開催で、90年の歴史とその先の進化と変化を見据えた製品・技術の展示を行いました。フェアには国内外より約1,400名のお客様にご来場いただき好評を博すとともに、活発な商談機会が得られ、成功裏のうちに幕を閉じました。今後、具体的なビジネスにつなげるよう注力し、「お客様に世界の一流品を提供する」創業の精神で、100年企業に向けて一層社業に邁進いたします。



90年の歴史を展示品と映像で  
"Legacy Tunnel"

注力している新製品を  
"Human Life"  
"Energy"  
"ICT"  
"Automotive"  
"Industrial"  
"Aerospace"  
6つの分野別にご提案



Human Life



Automotive



Energy



Industrial



ICT



Aerospace

その先の進化と変化を見据えた "New Technology"



## サプライチェーンにおけるCSR調達の推進

タムラグループでは、サプライチェーン全体でのCSRの取り組みを推進すべく、「タムラグループ調達ガイドライン」を制定し、取引先の皆様へご理解とご協力をお願いしております。

2014年3月末に近年の社会的な要請を反映するためにガイドラインを改定し、「CSR調達の推進」「グリーン調達の推進」「紛争鉱物不使用の推進」「事業継続計画の策定」を明記し、また「反社会的行為への関与の禁止」を項目として新設しました。2014年度には取引先の皆様にガイドライン改訂を通知するとともに、覚書または契約締結等にご協力をお願いしております。引き続き取引先の皆様と一体となって、サプライチェーンを通したCSR推進を展開してまいります。

※CSR調達の推進、グリーン調達の推進、紛争鉱物問題への取り組みについての詳細は、WEBサイトをご覧ください。URL [http://www.tamura-ss.co.jp/jp/csr/c\\_report/client.html](http://www.tamura-ss.co.jp/jp/csr/c_report/client.html)

## マレーシア東海岸の洪水災害への支援

タムラ電子（マレーシア）は、2014年12月に発生した「マレーシア東海岸の洪水災害」に対して、支援物資の提供、及びボランティア活動を行いました。

支援物資は会社と従業員の善意による寄付で、水、食料、衣類等、段ボールで約80箱（RM2,000相当）が集まりました。また、従業員有志のべ14名が2度にわたり被災地へ赴き、復旧作業等のボランティア活動にあたりました。



支援物資の提供



ボランティア活動

## ボランティアに参加した従業員の声

ボランティア活動を通しての被災地支援は貴重な体験でした。自分にできることがもっとあるとわかったので、今後も社会貢献活動に参加したいと思います。（購買／Marzukiさん）

## CSR情報サイト「実践編」の公開

倫理や法令を順守し、ステークホルダーの要請等取り組むべき課題を日常の業務の中で実行することがCSR活動であり、役員、従業員一人ひとりがCSRを理解し、行動することが重要です。そこでタムラグループのCSR活動を理解する情報源として、2011年に社内ネットワーク上に「CSR情報サイト」を開発し、CSRの入門教育に活用してきました。2014年度には日常業務において直面するもしくは直面する恐れのあるCSR上のリスク項目を抽出しQ&A形式で解説した「実践編」を制作し社内公開しました。今後はこの「実践編」も活用して企業としての社会的責任を果たすべく周知・浸透を図ってまいります。

## ものづくり教室開催

### 若柳タムラ製作所

電源トランス、リアクタ等を生産する若柳タムラ製作所（宮城県栗原市）は2014年9月21日、同市内の東北職業能力開発大学校において開催された職業体験イベント「ジョブkidsスマイルタウンくらはら2014」に参加、「ものづくり体験コーナー」を設置して、熟練のはんだ付技術を有する従業員が小学生にラジオと金属探知機の製作体験を指導しました。参加者は完成したラジオを聞いて喜んだり、金属探知機を使って宝探しエリアで遊んだり、ものづくりの楽しさと、作ったもので遊ぶ喜びを感じてもらうことができました。今回は同社にとって初めての取り組みでしたが、今後も地域と連携して活動を継続してまいります。



### タムラ製作所

2008年より毎年地域の小学校等に出向いて、ものづくり教室を開催しています。2014年12月13日、7度目となるものづくり教室を坂戸市入西地域交流センター（埼玉県）にて開催、小学生15名の参加を得て、当社の創業にゆかりのあるラジオの製作を行い、同市内にある坂戸事業所の従業員を中心にはんだ付の指導にあたりました。地域の子供たちとの交流を通じて、ものづくりの楽しさを伝えられるよう、今後も取り組みを継続いたします。



## スポーツ活動支援

スポーツ活動支援を通して、地域への社会貢献活動の充実を図っています。

### 女子サッカーリーグ ASエルフェン埼玉への協賛

タムラ製作所は、2006年より日本女子サッカーリーグ・なでしこリーグ所属「ASエルフェン埼玉」をトップパートナーとして応援しています。2014レギュラーシーズンは10チーム中8位でしたが、2015シーズンはより上位を目指して奮闘中です。当社は埼玉県狭山市の事業所内に有するスポーツセンターを地域に開放しておりますが、同クラブへの練習場としても提供しています。また、クラブを運営するNPO法人の行うサッカー教室を中心とした、健康増進・スポーツ振興などを目的とする総合型地域スポーツクラブの活動を支援しております。



### 練馬こぶしハーフマラソン2015への協賛

2015年3月29日に開催された練馬こぶしハーフマラソン2015に特別協賛しました。同大会は練馬区などの主催で今回初めて開催され、約5,000名が出走、当社グループからも約10名の有志が出場しました。当社は、同区内に本社をおく地元の企業として、会場となった光が丘公園内にテントを設け、タムラグループのPRを行うとともに、グループマスコット「クーニャ」もランナーを応援し、大会を盛り上げました。







環境報告

# 2014年度環境活動トピックス

## 環境経営

タムラグループは、継続的な改善活動により環境負荷の低減に取り組むことで、社会的責任を果たすとともに、持続可能な社会づくりに貢献します。

## 環境マネジメントシステムの統合

タムラグループは、2006年度よりグローバルに統一した環境マネジメントシステムを構築し、2014年度までに16社26サイトを統合し、タムラグループ全体の環境パフォーマンスの向上、環境ガバナンスの強化に取り組んでいます。

## タムラグループ目標および実績と評価

タムラグループは環境方針で重点施策に掲げた「環境貢献製品の売上比率の拡大」「環境負荷物質の削減」「電気使用量の削減」を3つの共通目標として環境保全活動に取り組んでいます。

2014年度は、プレミアム環境貢献製品を除き、目標未達成となりました。

### 2014年度 タムラグループ目標と実績

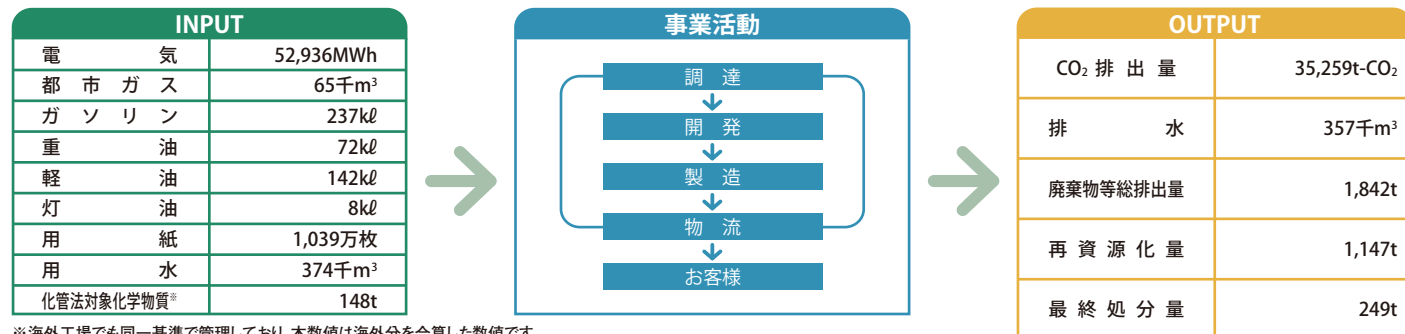
	環境目的	2014年度目標	2014年度実績	2015年度目標
I	環境貢献製品の売上比率の拡大	環境貢献製品の売上比率 プレミアム環境貢献製品:17% (一般環境貢献製品:62%)	17% (60%)	プレミアム環境貢献製品の 売上比率:17%
II	環境負荷物質の削減	化管法*対象化学物質 2005年度比原単位:64%削減	63%削減	化管法*対象化学物質 2005年度比原単位:64%削減
III	電気使用量の削減 (CO <sub>2</sub> 排出量の削減)	電気使用量 2005年度比:5%削減	4%削減	電気使用量 2005年度比:7%削減

\*化管法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

## タムラグループ環境負荷の概況

タムラグループは、事業活動における環境負荷を定量的に把握し、プレミアム環境貢献製品の開発をはじめ、生産性の向上や物流の効率化など、事業活動のあらゆる場面で、環境負荷の低減に取り組んでいます。

### 2014年度 環境負荷の概況



## タムラグループ環境方針

### 環境理念

タムラグループミッションである「私たちは、タムラグループの成長を支えるすべての人々の幸せを育むため、世界のエレクトロニクス市場に高く評価される独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます」にもとづき、地球環境・生物多様性の保全を推進し、全ての企業活動において環境との調和を図ります。

### 重点施策

タムラグループの事業である電子部品、電子化学材料、はんだ付装置、情報機器関連の設計・開発・製造・サービス活動において、環境マネジメントシステムを運用し、資源の有効活用、汚染の予防及び法規制等を順守すると共に、その継続的な改善を図り、次に示す環境保全活動を重点的に実施します。

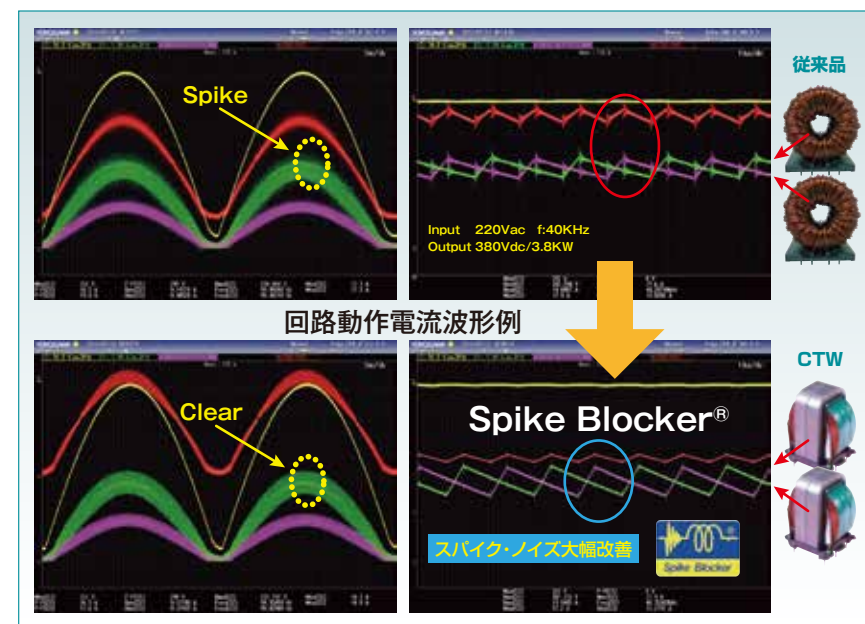
1. 環境貢献製品を提供します。
2. 環境負荷物質を抑制し、削減します。
3. 省エネルギー、省資源を推進します。

## 新たなプレミアム環境貢献製品の紹介

タムラグループでは、開発・設計段階で製品環境アセスメントを実施し、環境影響の最小限化に取り組むとともに、プレミアム環境貢献製品の開発・提供を通じて地球環境への貢献を目指しています。

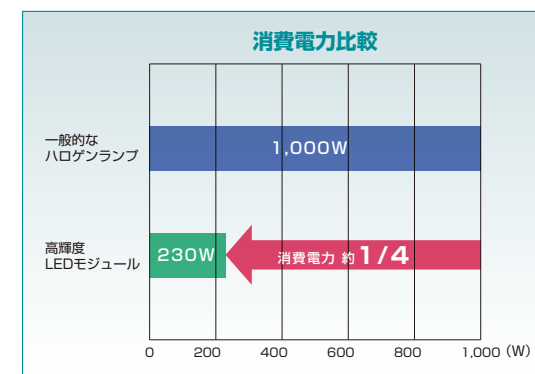
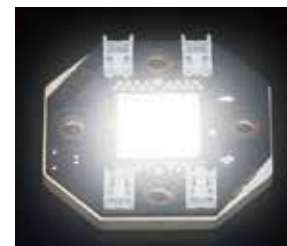
### PFC用高効率・低コスト・高性能リアクタ CTWシリーズ

あらゆる産業分野において、省エネルギー化の動きが年々活発になっています。CTWシリーズは、さまざまな機器の省エネルギー化を実現するために使用される、PFC (Power Factor Correction/力率改善) 回路用の部品として開発したタムラ独自の製品です。その特長として、  
1) Hybrid技術及び構造の最適化: 異素材鉄心の組み合わせによる特性の最適化、主材料である電線と鉄心以外の使用材料を最小限に抑えることにより、省資源化、省エネルギー化に貢献します。  
2) Spike Blocker®技術: スパイク・ノイズを最小限に抑える(右図)ことにより、周辺回路部品を削減し、省資源化、省エネルギー化に貢献します。



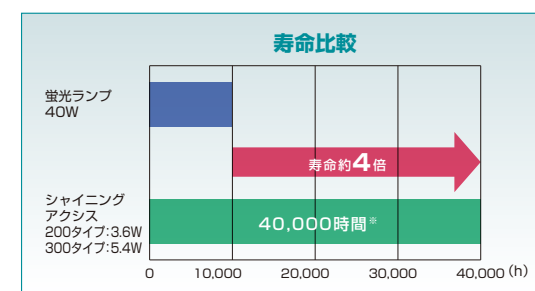
## ハロゲンに代わる高輝度LEDモジュール

高輝度ハロゲンランプと代替可能なLED集積光源を実現しました。  
LEDならではの長寿命・高効率の特長を有しており、既存のハロゲンランプのような照らされて熱く感じる赤外線の放射もありません。また、独自の高放熱構造により、高密度・大電流での動作を可能にし、今までのCOBパッケージでは不可能であったハロゲンランプを代替可能な小面積・大光量の高輝度性能(2タイプ: 1,000w相当、650w相当)を実現しています。



## 看板照明 薄型両面看板用光源モジュール シャイニングアクシス

「シャイニングアクシス」は、薄型両面看板用のLED光源です。光波独自の光学設計で超薄型の看板厚(60ミリ)まで対応可能です。従来、薄型の両面看板には導光板方式の光源が採用されており、発光効率も悪い上、高い初期投資費用が問題点でした。一方で看板の薄型化が進み、その市場ニーズと従来光源の課題解決が可能な側面照射方式で、且つ均一面発光が可能なLED光源需要が急速に高まっています。光波独自の光学設計を駆使した特殊レンズが採用されているアクシスは、薄型看板の発光ムラを極力抑え、また、従来よりもワンランク上の防沫設計(IP×4)を実現した新しいLED光源です。また、2ラインナップの組み合わせにより、多種多様なサイズの看板に対応可能なフレキシビリティを備えています。長い看板市場での経験を活かし、施工を更に容易にするための接続用オプションパーツも同時に商品化しました。





# CORPORATE DATA

## 会社プロフィール

### 会社プロフィール

商 号 株式会社タムラ製作所  
TAMURA CORPORATION

創 業 1924年5月11日  
設 立 1939年11月21日

資本金 11,829百万円(2015年3月31日現在)  
株 式 (2015年3月31日現在)  
発行可能株式総数 252,000,000株  
発行済株式の総数 81,995,960株  
(自己株式775,513株を除く)

株主数 11,309名

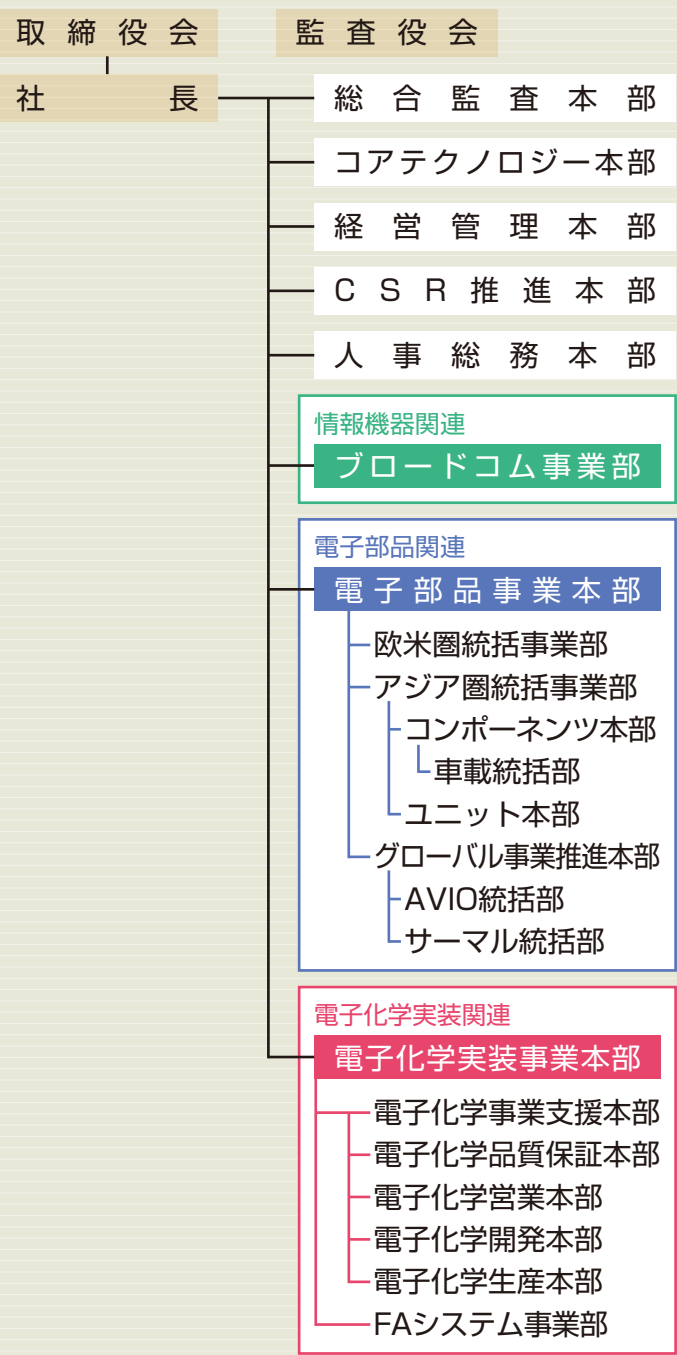
決算期 年1回 3月31日

役 員 (2015年6月26日現在)

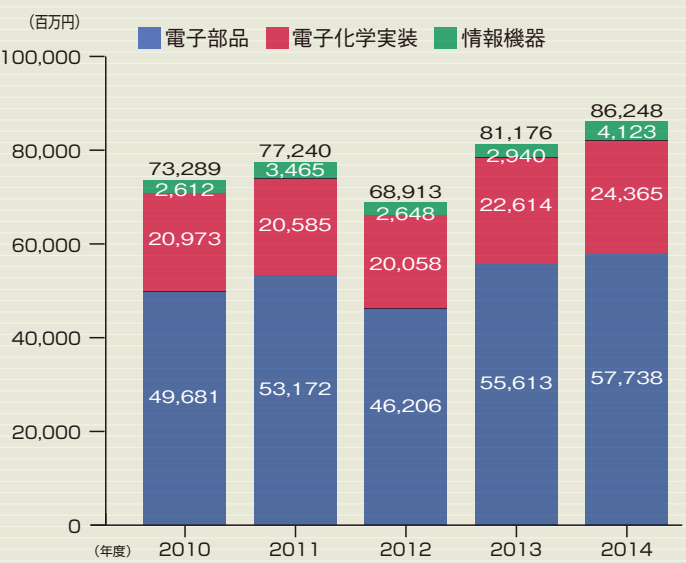
代表取締役社長 田村 直樹  
取締役常務執行役員 李 国華  
浅田 昌弘  
取締役 蓑宮 武夫(社外取締役)  
石川 重明(社外取締役)  
取締役上席執行役員 中島 康裕  
南條 紀彦  
齋藤 彰一  
橋口 裕作  
上席執行役員 清田 達也  
執行役員 舞木 孝一郎  
末田 直一  
柴田 誠治  
常勤監査役 久保 肇  
監査役 守屋 宏一(社外監査役)  
戸田 厚司(社外監査役)

### 会社組織図

(2015年6月26日現在)

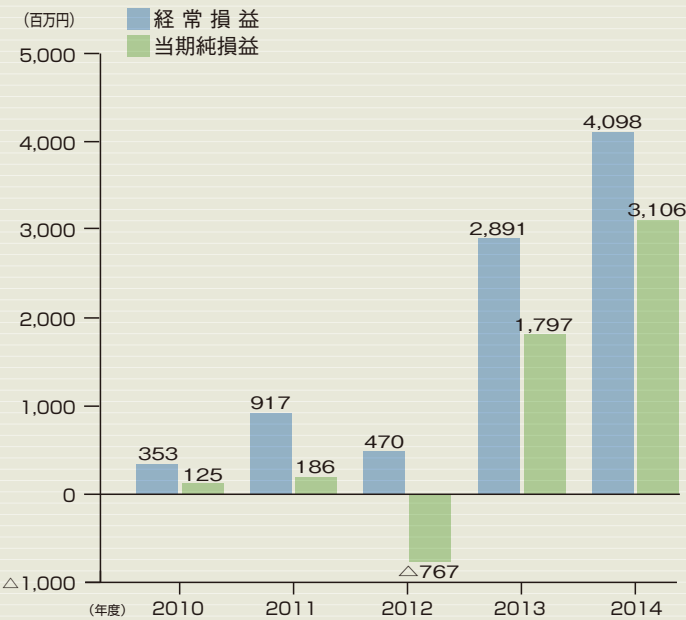


### 売上高(連結)



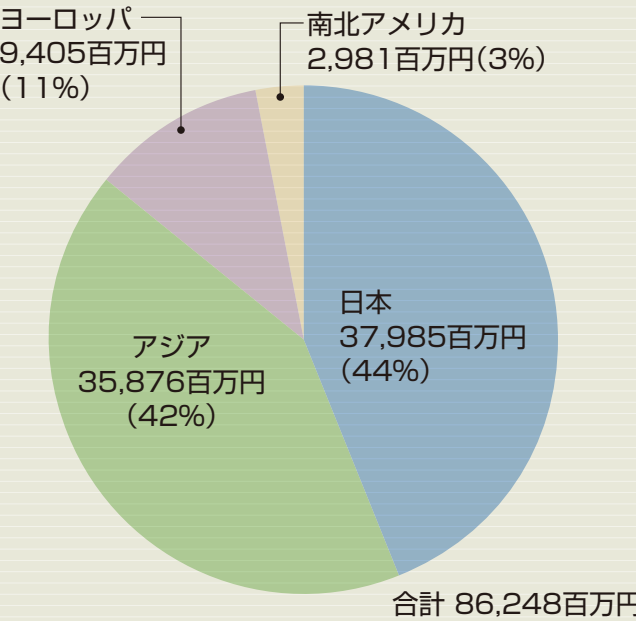
※各事業の外部顧客に対する売上高(事業間の内部売上高を除く)を表示しています。  
※各事業年度の連結売上高合計には、その他事業(運輸・倉庫・保険業)が含まれています。

### 経常損益・当期純損益(連結)



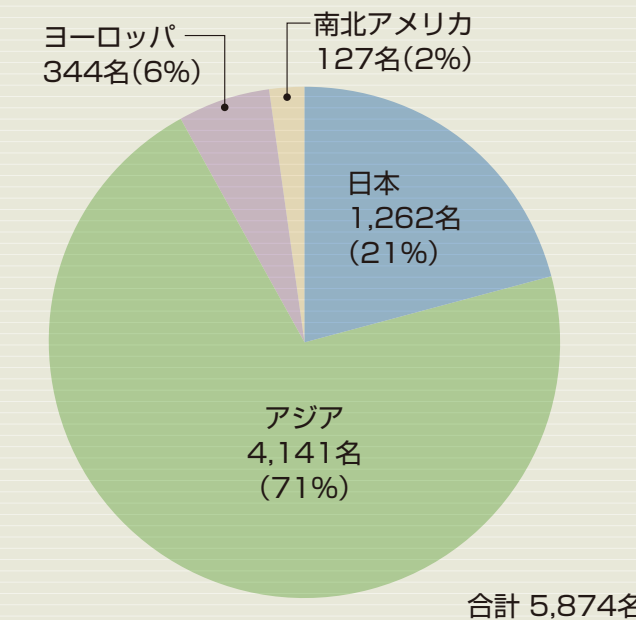
### 地域別売上構成(連結)

(2015年3月期)



### 地域別従業員構成(連結)

(2015年3月31日現在)







Network Japan  
WE SUPPORT

タムラグループは国連グローバル・コンパクトに参加しています。

国連グローバル・コンパクト

1999年の世界経済フォーラムにおいて、当時国連事務総長であったコフィー・アナン氏が「民間企業のもつ創造力を結集し、弱い立場にある人びとの願いや未来世代の必要に応じていこう」と提唱し、翌2000年に正式に国連の活動としてスタートした企業の自主行動原理。



COMMUNICATION ON  
PROGRESS

This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

<http://www.tamura-ss.co.jp/>



タムラグループマスコット  
“クーニュ Quenu”

株式会社 **タムラ製作所**

**TAMURA CORPORATION**

〒178-8511 東京都練馬区東大泉1-19-43